



1 アクセシブルツーリズムの推進

■ アクセシブルツーリズム

英語の「ACCESSIBILITY ^{アクセシビリティ}（利用しやすい）」に由来し、移動等の困難さに直面する人々のニーズに応えながら誰もが安心して旅を楽しむことを目指す取組みのこと。



■ 県の主な取組み

【施設整備への支援】

アクセシブルツーリズム推進事業

県内観光事業者やDMO（観光地域づくり法人）等が行うアクセシブルツーリズムの推進に向けた取組みを支援

対象事業	助成率	助成上限額 （1事業者あたり）
多機能トイレへの改修、段差解消やスロープ設置、表示の多言語化 等	1/2	100万円

【機運醸成に向けた取組み】

アクセシブルツーリズム研修会の開催

（研修内容の例）

- ・ アクセシブルツーリズムとは何か？
- ・ 心のバリアフリー認定制度について

アクセシブルツーリズムの趣旨をご理解のうえ、誰もが旅を楽しむことができる地域づくりに向け、所管施設等の改善や、管内事業者への周知等にご協力をお願いいたします！

持続可能な観光地域の確立に向けた取組みについて

2 インバウンド観光地づくり及び広域周遊

■ 山形県の外国人旅行者数



外国人旅行者の
受入実績は過去
最高を記録(R5)

しかし、その多くは
蔵王、銀山温泉に
集中している

外国人旅行者のスポット別
訪問状況 (R6.1～10)
(出典) 東北観光DM P



■ 県の主な取組み

観光庁予算
1.3億円

【モデル観光地選定を契機とした取組み】

令和6年9月、観光庁が選定する「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりモデル観光地」として、山形県全域が選定

観光消費額の目標（R11：2,600億円）を達成するために、観光消費額単価の高い外国人の誘客を図り、全ての観光客にとって山形の観光の魅力を高める取組みを実施

- [ウリ] 富裕層に訴求する新たな商品開発
- [コネ] 富裕層のマーケティングデータの調査・分析
- [ヤド] 本県にふさわしい富裕層の向けの宿の検討
- [ヒト] 富裕層向けガイド育成のための研修の実施
- [アシ] 富裕層の移動確保に向けた実態調査

【広域周遊に向けた取組み】

海外で知名度の高い銀山温泉と他の観光地との周遊に向けた調査・検討、二次交通モデル事業の実施

高付加価値な観光地づくり、隣接市町村等と連携した県内周遊観光の促進に向け、富裕層にも響く地域ならではの観光コンテンツの造成や受入態勢の整備等に御協力をお願いいたします！